

2013年3月期 決算説明会

2013年5月14日

本日の内容



1. 2013/3月期 連結決算の概要

代表取締役専務取締役 山下 隆

2. 2014/3月期 事業計画(戦略と施策)

代表取締役社長 堺 美保

2013/3月期 連結決算の概要

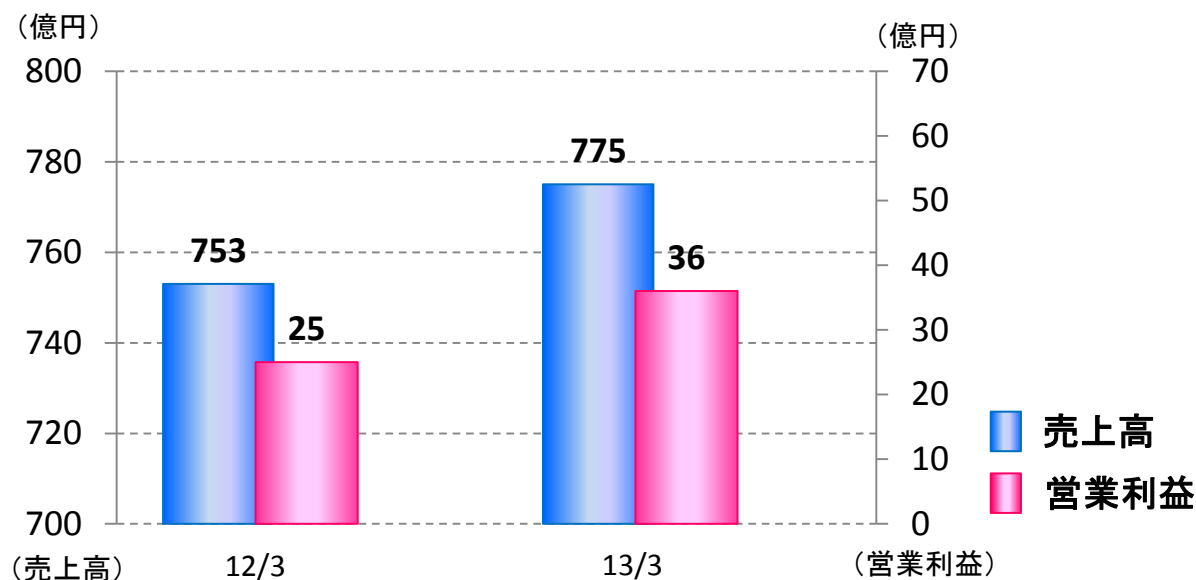
代表取締役専務取締役 山下 隆

2013/3月期 決算ハイライト(連結)



単位: 億円

	2012/3月期		2013/3月期		前年同期比較	
	実績	対売上比	実績	対売上比	増減額	前年比
売上高	753	—	775	—	+21	102.9%
粗利益	203	27.0%	226	29.2%	+22	111.0%
販管費	178	23.6%	190	24.5%	+12	106.8%
営業利益	25	3.4%	36	4.6%	+10	140.3%
経常利益	28	3.8%	37	4.8%	+9	131.9%
純利益	14	1.9%	24	3.1%	+9	170.0%



セグメント売上高(連結)

単位: 億円

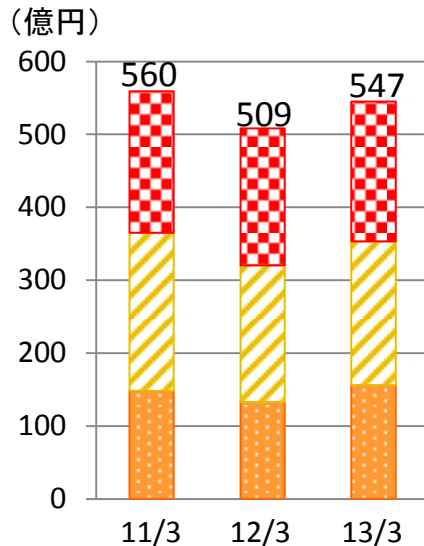
セグメント	部門	2012/3月期	構成比	2013/3月期	構成比	増減額	前年比
国内食品事業		509	66.9%	547	69.9%	+37	107.4%
	家庭用食品	133	17.6%	156	20.0%	+22	117.1%
	業務用食品	187	24.6%	197	25.2%	+10	105.4%
	加工食品用原料等	188	24.7%	192	24.7%	+4	102.4%
国内化成品その他事業		58	7.7%	57	7.4%	△0	99.0%
海外事業		193	25.4%	178	22.7%	△15	91.9%
合計		761	100.0%	782	100.0%	+21	102.8%
調整額(消去)		△7		△6		+0	
連結		753		775		+21	102.9%

※構成比は調整前の数値

セグメント別売上高 主な増減要因①

国内食品事業【前年差+37 / 前年比107.4%】

単位: 億円



家庭用食品

【前期差+22 / 前期比117.1%】

- ◆海藻 +10.3 ◇ グループを挙げての「復旧・復興」に向けた取り組みと、積極的な販売促進策の奏功
- ◆ドレッシング +19.0 ◇ 「くせになるうま塩」、「セレクトィあめ色玉ねぎ」の高い支持
◇ 主力レギュラー品の積極的な販売プロモーションの奏功

業務用食品

【前期差+10 / 前期比105.4%】

- ◆海藻 +7.3 ◇ グループを挙げての「復旧・復興」に向けた取り組みと、積極的な販売促進策の奏功
- ◆食品改良剤 +2.7 ◇ コンビニや他社食品メーカー向け等の食品改良剤の伸長

加工食品用原料等

【前期差+4 / 前期比102.4%】

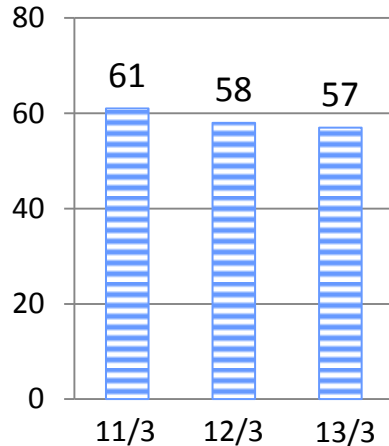
- ◆食品改良剤 +5.1 ◇ パン用や飲料用の改良剤等が堅調に推移
- ◆ヘルスケア関連 +1.5 ◇ 医薬用・食品用ビタミンや、健康食品用商材の伸長
- ◆子会社販売分 △1.1 ◇ 子会社が扱うビタミンCや梅関連製品の減少

セグメント別売上高 主な増減要因②

国内化成品その他事業【前年差△0 / 前年比99.0%】

単位: 億円

(億円)



◆化成品

.....

+0.1

◇ 食品用ラップ(防曇剤)・家電向けなどの分野が低調ではあったものの、ほぼ前年並み

◆その他

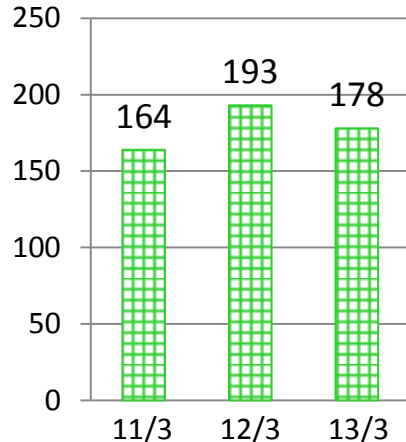
.....

△0.7

◇ 飼料用油脂の売上低調

海外事業【前年差△15 / 前年比91.9%】

(億円)



◆海外販社5社

.....

+4.4

(+3.1)

◇ 既存市場の深耕ならびに成長市場の開拓・販売拡大を図ったことにより伸長

◆青島福生食品

.....

△20.0

(+2.1)

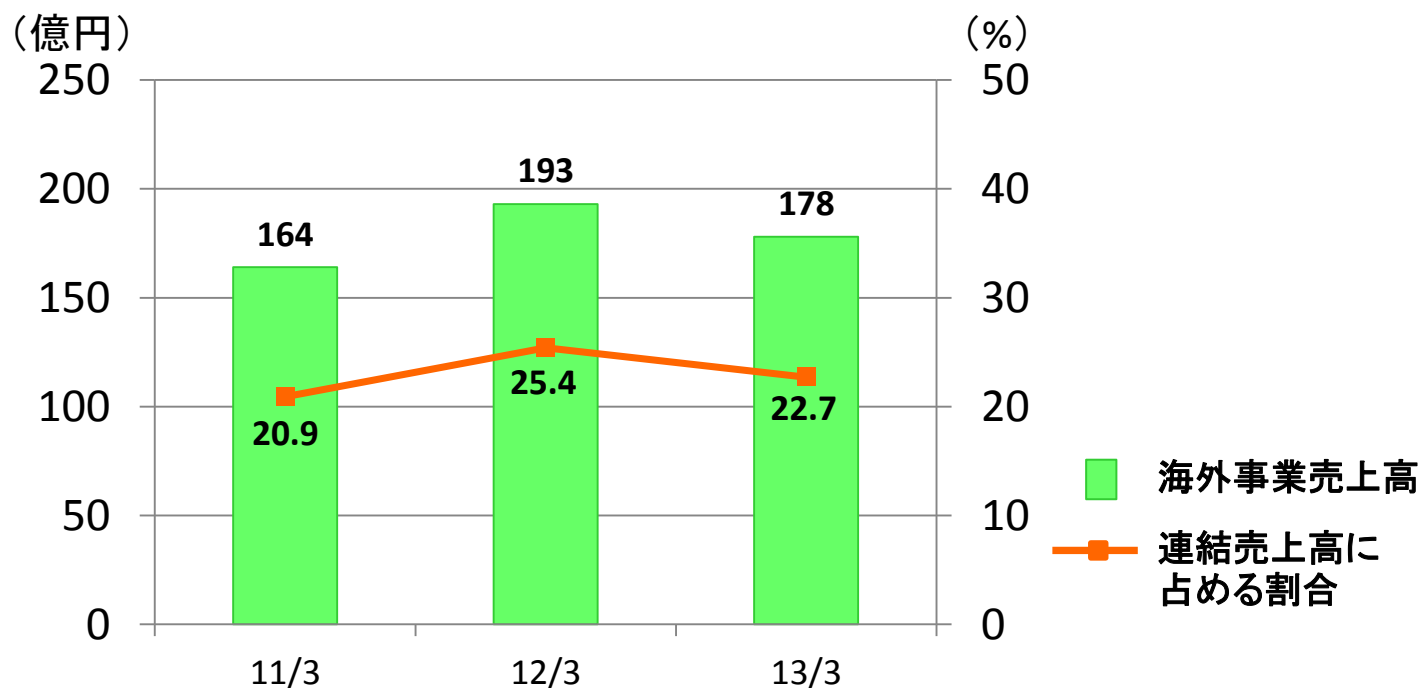
◇ 欧州地域における金融不安を背景に、欧州向け水産加工品の売上が大きく減少

()内は為替影響額

海外事業売上高の状況

単位: 億円

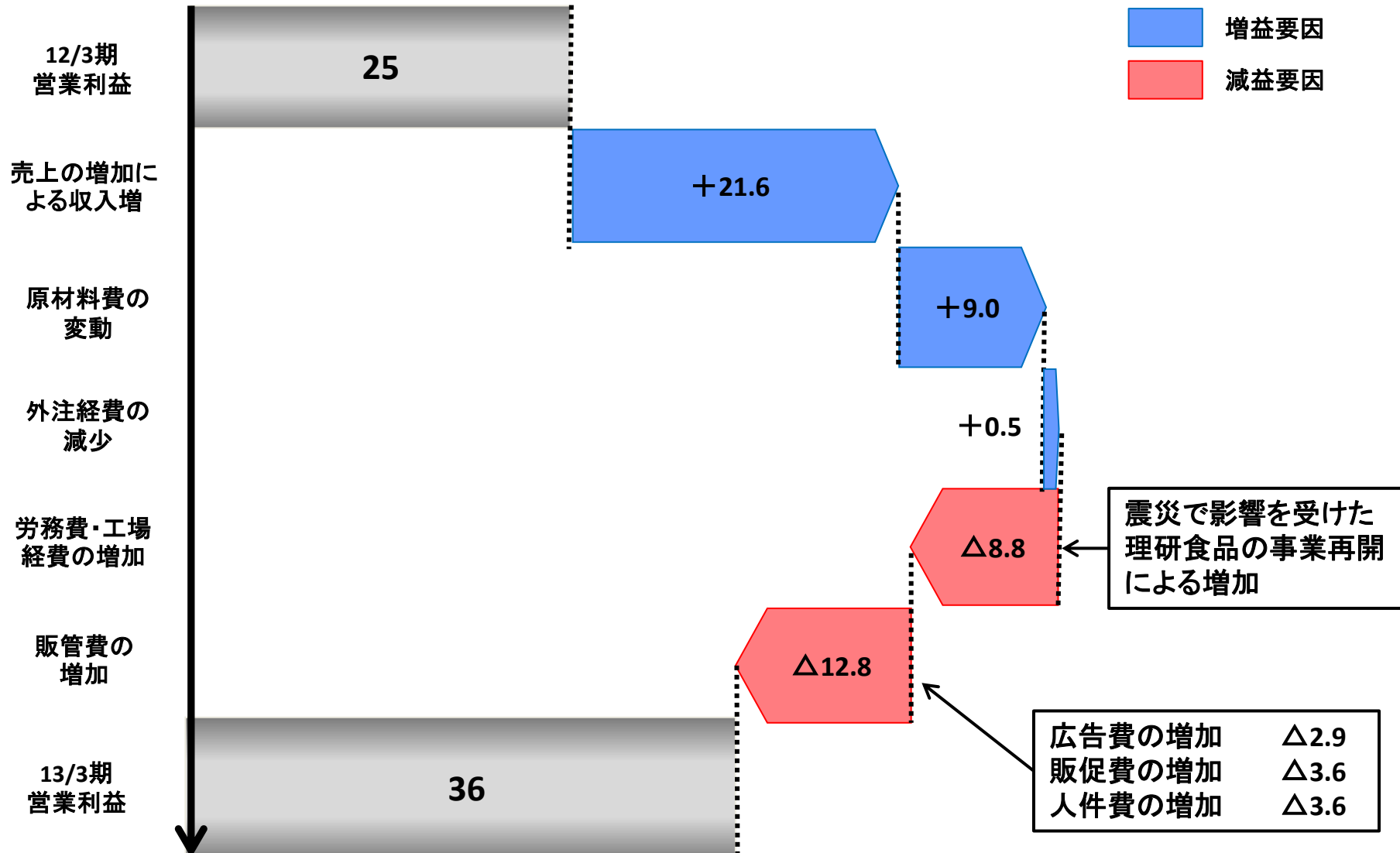
	2011/3月期	2012/3月期	2013/3月期
海外事業売上高	164	193	178
販社(改良剤)	90	98	102
青島福生	73	95	75
連結売上高に占める割合	20.9%	25.4%	22.7%



営業利益の増減要因分析



単位: 億円



貸借対照表の主な増減科目(連結)①

単位: 億円

資産の部			
科目	2012/3月期 期末	2013/3月期 期末	増減額
流動資産	511	538	+27
現金及び預金	157	128	△28
受取手形及び売掛金	198	212	+13
たな卸資産	127	165	+37
固定資産	354	404	+49
有形固定資産	230	249	+19
無形固定資産	7	8	+1
投資その他の資産	116	145	+29
合計	865	942	+77

商品及び製品 +0.6
仕掛品 +12.8
原材料及び貯蔵品 +23.8

投資有価証券 +34.2

貸借対照表の主な増減科目(連結)②

単位:億円

負債・純資産の部			
科目	2012/3月期 期末	2013/3月期 期末	増減額
流動負債	259	280	+21
支払手形及び買掛金	99	103	+4
短期借入金	87	103	+15
固定負債	42	54	+12
負債合計	301	335	+33
株主資本	547	551	+4
その他の包括利益	12	50	+37
少数株主持分	3	5	+1
純資産合計	563	607	+43
合計	865	942	+77

利益剰余金 +15.9
自己株式 △11.6

その他有価証券評価差額金 +21.4
為替換算調整勘定 +16.1

キャッシュフローの状況(連結)

単位:億円

	2012/3月期	2013/3月期
現金及び現金同等物の期首残高	168	158
営業活動によるキャッシュ・フロー	35	30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43	△56
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1	△13
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	3
現金及び現金同等物の期末残高	158	121

税金等調整前純利益 +36.5
減価償却費 +32.6
たな卸資産の増加 △29.8

有形固定資産の取得 △54.2

短期借入金の増加 +10.7
配当金の支払 △8.1
自己株式の取得 △11.6

新中期経営計画の達成に向けて

2014/3月期 事業計画（戦略と施策）

代表取締役社長 堺 美保

中期経営計画 経営基本方針



更なる
企業価値の向上

グループ経営の推進→事業基盤強化

グローバルなフィールドでの成長

企業体質の強化

独自技術の活用 と 事業の選択と集中

高付加価値製品の追求

社会の信頼に
応える企業

健全な事業運営を推進する
コンプライアンス体制・ガバナンス体制

安全な製品の提供

- 1 中核事業での国内外マーケットシェア拡大と収益力の向上を目指す
- 2 海外事業を当社グループの成長エンジンと見据え、運営(開発・生産・販売)体制の強化を図る
- 3 品質保証体制の更なる強化を図り、顧客・消費者の信頼を高める
- 4 アライアンス・パートナーとの更なる事業推進を図る
- 5 CSR経営の一層の推進を図る

2014/3月期 通期業績目標(連結)



(単位:億円)

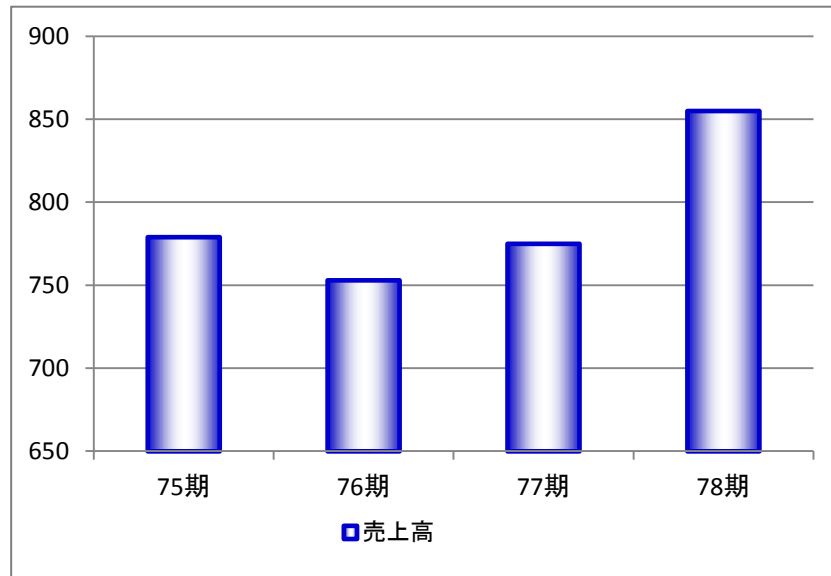
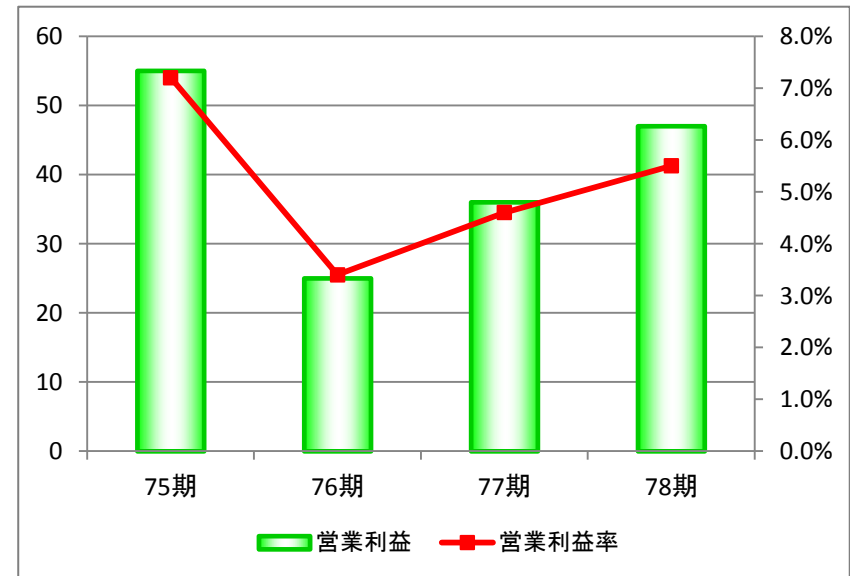
	75期 (2011/3)		76期 (2012/3)		77期 (2013/3)		78期 (2014/3)				
	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	計画	売上比	77期差	77期比	為替差
売上高	779		753		775		855		+ 79	110.2%	+ 28
営業利益	55	7.2	25	3.4	36	4.6	47	5.5	+ 11	130.6%	+ 1
経常利益	57	7.3	28	3.8	37	4.8	48	5.6	+ 10	128.3%	+ 1
当期純利益	11	1.4	14	1.9	24	3.1	28	3.3	+ 3	116.4%	+ 0

為替レート

83.32円

93円

(中計策定時 80円)

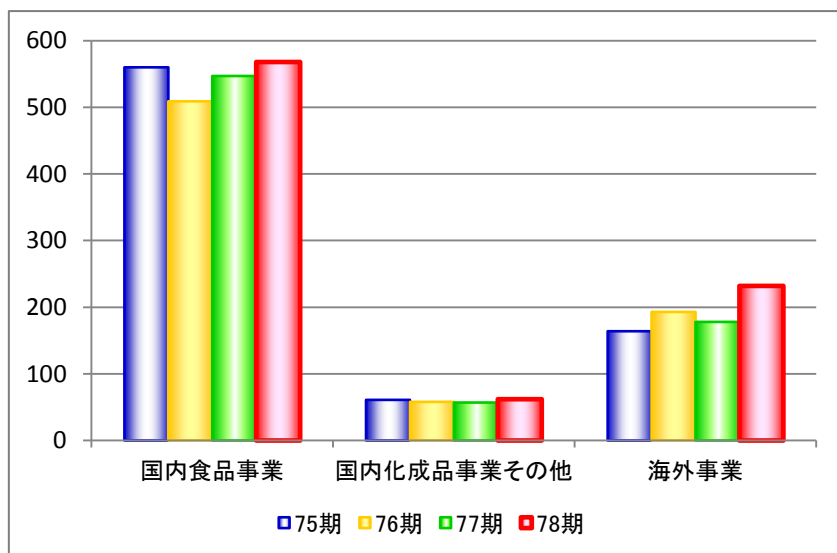
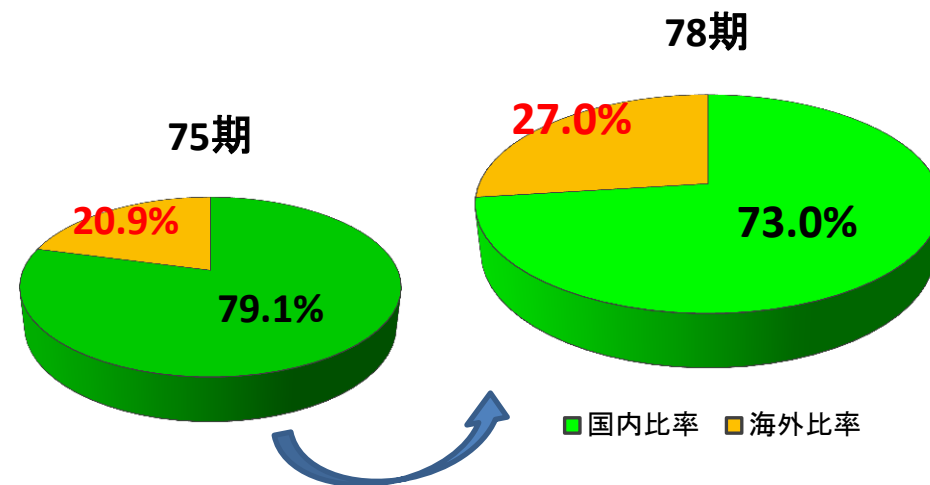


2014/3月期 通期セグメント別売上目標



単位: 億円

	75期 (2011/3)		76期 (2012/3)		77期 (2013/3)		78期 (2014/3)				為替差
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	計画	構成比	77期差	77期比	
国内食品事業	560	71.3	509	66.9	547	69.9	568	65.8	+ 20	103.8%	+ 0
家庭用食品	148		133		156		162		+ 5	103.6%	
業務用食品	217		187		197		210		+ 12	106.5%	+ 0
加工食品用原料他	194		188		192		195		+ 2	101.3%	
国内化成品その他事業	61	7.8	58	7.7	57	7.4	62	7.2	+ 4	107.6%	
海外事業	164	20.9	193	25.4	178	22.7	233	27.0	+ 54	130.9%	+ 29
調整額 (セグメント間消去)	▲ 6		▲ 7		▲ 6		▲ 8				▲ 0
合 計	779		753		775		855		+ 79	110.2%	+ 28



2014/3月期 通期セグメント別営業利益目標



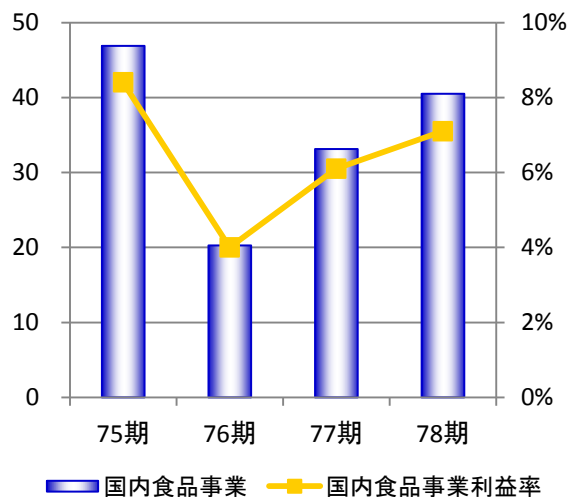
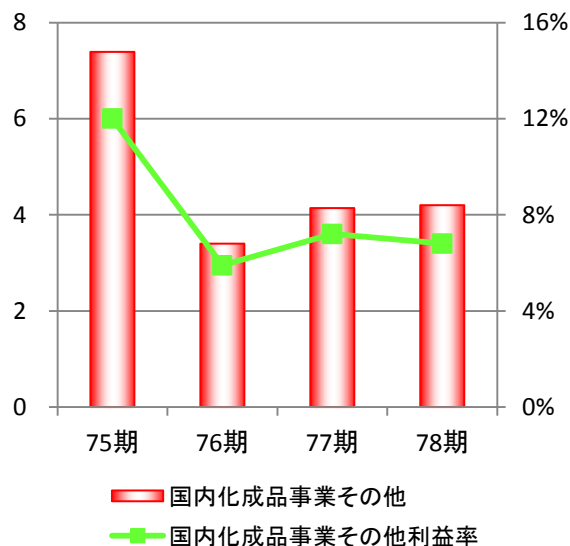
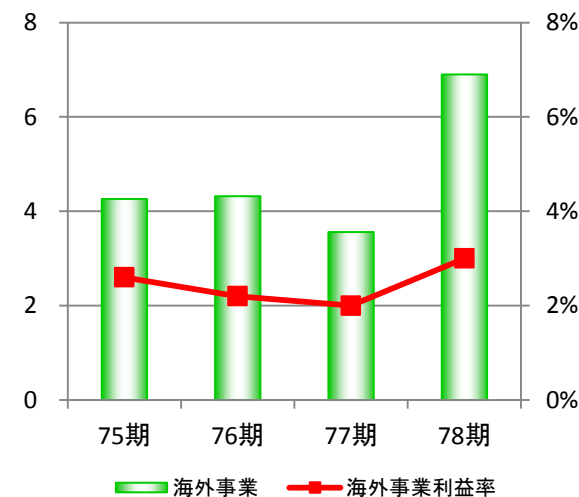
(単位:億円)

	75期 (2011/3)	
	実績	利益率
国内食品事業	46	8.4%
国内化成品事業その他	7	12.0%
海外事業	4	2.6%
調整額 (セグメント消去)	▲ 2	
合 計	55	7.2%

	76期 (2012/3)	
	実績	利益率
国内食品事業	20	4.0%
国内化成品事業その他	3	5.9%
海外事業	4	2.2%
調整額 (セグメント消去)	▲ 2	
合 計	25	3.4%

	77期 (2013/3)	
	実績	利益率
国内食品事業	33	6.1%
国内化成品事業その他	4	7.2%
海外事業	3	2.0%
調整額 (セグメント消去)	▲ 4	
合 計	36	4.6%

78期 (2014/3)			
計画	利益率	77期差	77期比
40	7.1%	+ 7	122.2%
4	6.8%	+ 0	101.3%
6	3.0%	+ 3	193.5%
▲ 4			
47	5.5%	+ 10	130.5%



中期経営計画 事業戦略

共通

- ① 品質マインドを醸成する環境整備
- ② 中核事業でのローコストプロダクションの
確実な実行
- ③ グループ内のグローバルネットシステムの
強化

●「包装資材管理・技術センター」の設立



【78期通期】セグメント事業戦略① ー国内食品事業ー



中期経営計画 事業戦略

家庭用食品

- ① 主力商品群のシェア拡大と収益力向上
- ② 新製品上市による新市場創出の推進、
新用途開発による新規需要の掘り起こし
- ③ 海藻商品ブランド再興
- ④ 中核事業の周辺カテゴリー開拓

三陸・国内産わかめの強化！！

★新ラインナップ

●三陸



●国内産



●瀬戸内



78期
通期

162億円（前期比 +5億円）

●ドレッシング

好調の“くせになる”に
「スタミナ胡麻」を上市。
青じその洋風タイプを上市。
TVCM実施。



●映画「体脂肪計タニタの社員食堂」との タイアップ

●素材力

TVCMや医療機関サンプリング等による
商品認知率向上。減塩訴求。



②新製品上市

- 『コリコリ茎わかめさん』
好評につき、
『炙り鮭風味』を
上市。



【78期通期】セグメント事業戦略① ー国内食品事業ー



中期経営計画 事業戦略

業務用食品

- ① 主力商品群のシェア拡大と収益力向上
- ② 新製品上市による新市場創出の推進、
新用途開発による新規需要の掘り起こし
- ③ 海藻商品ブランド再興
- ④ 学校給食市場・CVS市場への
取組み再構築

78期
通期

210億円（前期比 +12億円）

- ドレッシング・・・「サラダサポート」シリーズに、
シーザーサラダを上市。
- エキス・・・付加価値品の販売



- 学校給食市場・・・【海藻】安全面・品質面での優位性の
訴求。
【その他】ヘルシーファームシリーズや
笑顔でランチ等商品の拡大
- CVS市場・・・新素材・調味料等も活用した商品提案。
定期的なメニュー提案。調理海藻類の
導入。

★冷凍海藻

収穫した「わかめ」をボイル後、急速冷凍し、
美味しさを封じ込める

→ これまでにない様々な特長を持つ
新しいタイプのわかめ

* 特長

- ・ハリのある色と味
- ・シャキシャキした食感 等



●大船渡工場外観



中期経営計画 事業戦略

加工用食品用原料他

- ① 重点業界、顧客への販売取り組み強化と新規顧客の獲得推進
- ② 新用途、新機能製品の提案営業の推進による新規需要の創出
- ③ 健康機能食品市場の継続拡大

78期
通期

195億円（前期比 +2億円）

◆WEBサイト《健康成分ラボ》オープン

当社が以前から続けている食品成分の機能性に関する研究成果を、分かりやすく紹介するサイトです。



改良剤の用途

乳化

水分と油分を混ぜ合わせる



分散

粉末を液体中に分散させる



消泡

消えにくい泡を消す



【78期通期】セグメント事業戦略② ー国内化成品その他事業ー

中期経営計画 事業戦略

国内化成品その他事業

- ① 既存系製品の水平展開と、
新規用途開発による新規顧客開拓
- ② 顧客ニーズを見据えた新機能性製品の開発と、
提案営業推進による新規需要の創出

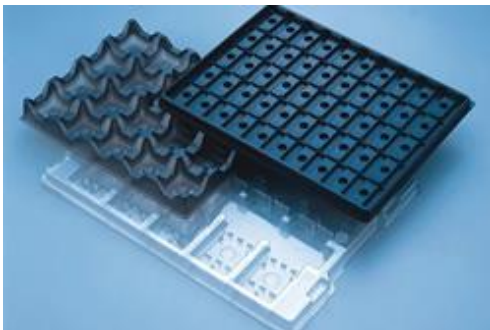
78期
通期

62億円（前期比 +4億円）

化成品の用途

帯電防止

静電気の発生を抑え、
ホコリの付着を防ぐ



可塑

硬いものを柔らかくする



【78期通期】セグメント事業戦略③ ー海外事業ー



中期経営計画 事業戦略

食品改良剤/化成品用改良剤事業

- ① 新興国市場の更なる開拓
- ② 生産能力の拡大
- ③ 付加価値製品の売上拡大
- ④ 顧客ニーズへの対応力強化
- ⑤ 世界競争市場でのコストリダクション推進

78期
通期

233億円（前期比 +54億円）

- インド駐在員事務所 → 販売子会社へ
- トルコ駐在員事務所 設立

- 天津理研維他食品有限公司
…化成品事業の強化・拡大
- RIKEVITA(MALAYSIA)SDN.BHD. …能力増強

- 各地域でのアプリケーションセンターの活用

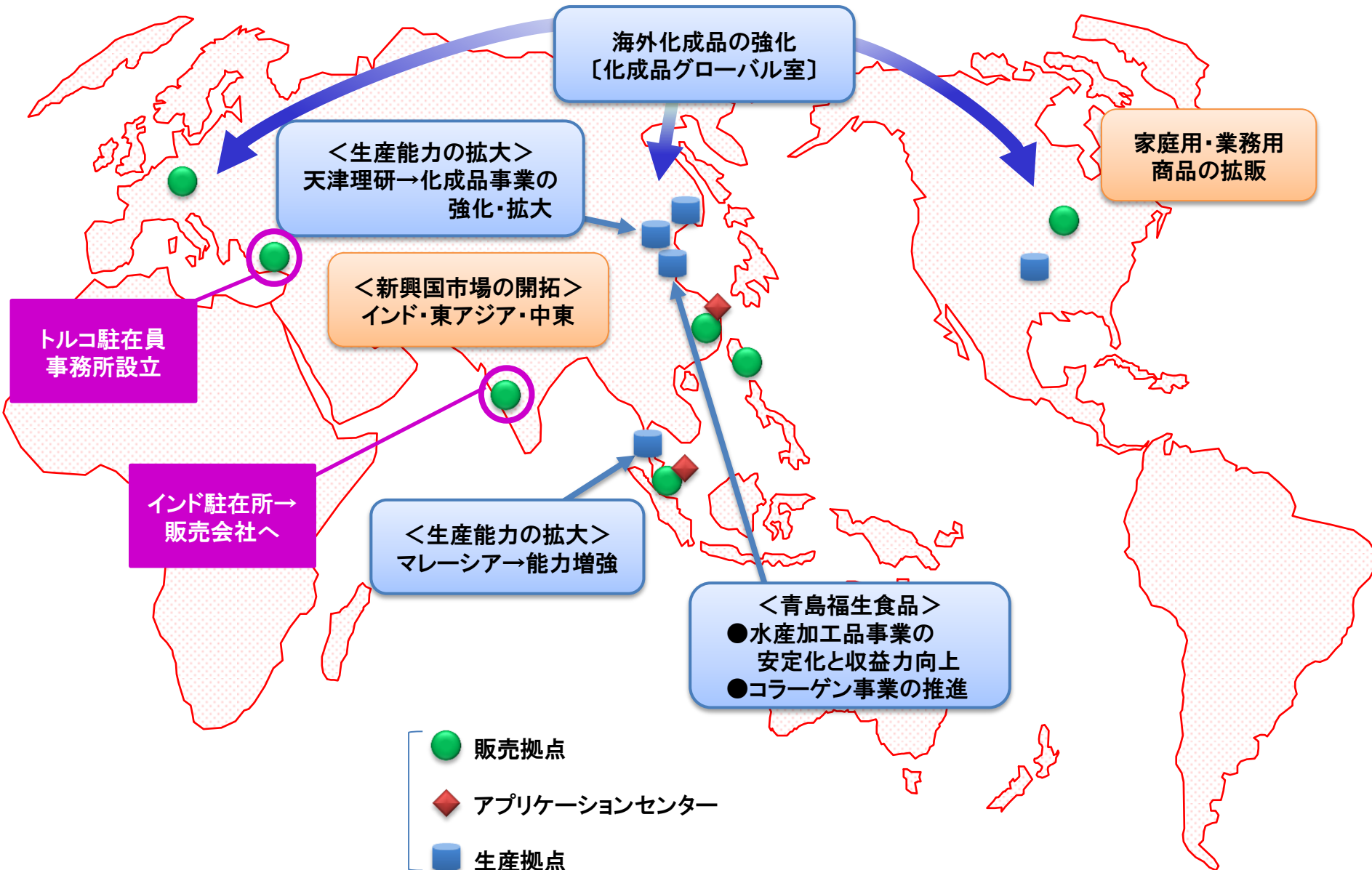
食品事業（青島福生食品）

- ① 水産加工品事業の安定化と
周辺分野への取り組みによる収益力向上
- ② 事業構造の改革推進、
新規事業開拓の推進

- 欧州地域の厳しい情勢の影響を受ける

- 「マリン・コラーゲン ペプチド」事業の推進

中期経営計画 ／ 事業戦略 —海外事業—



中期経営計画 ／ 年度別目標

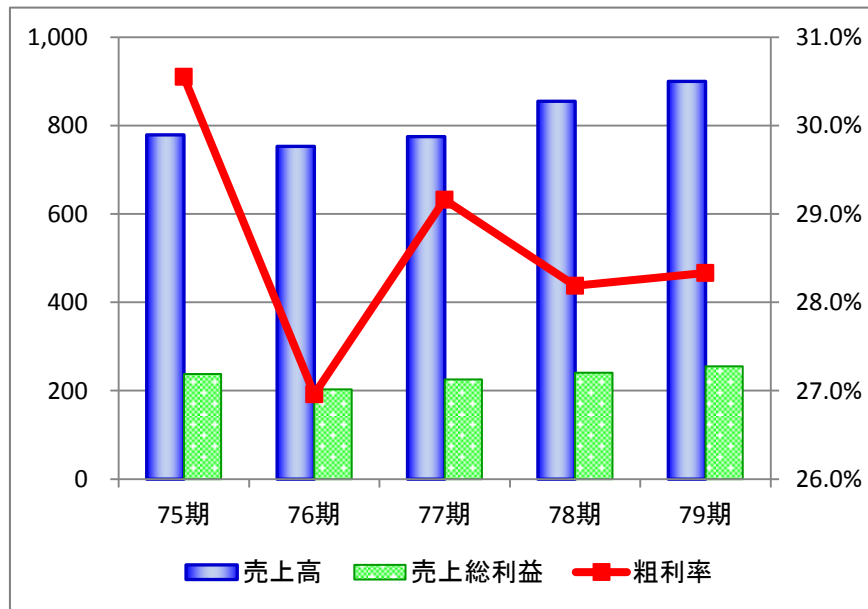
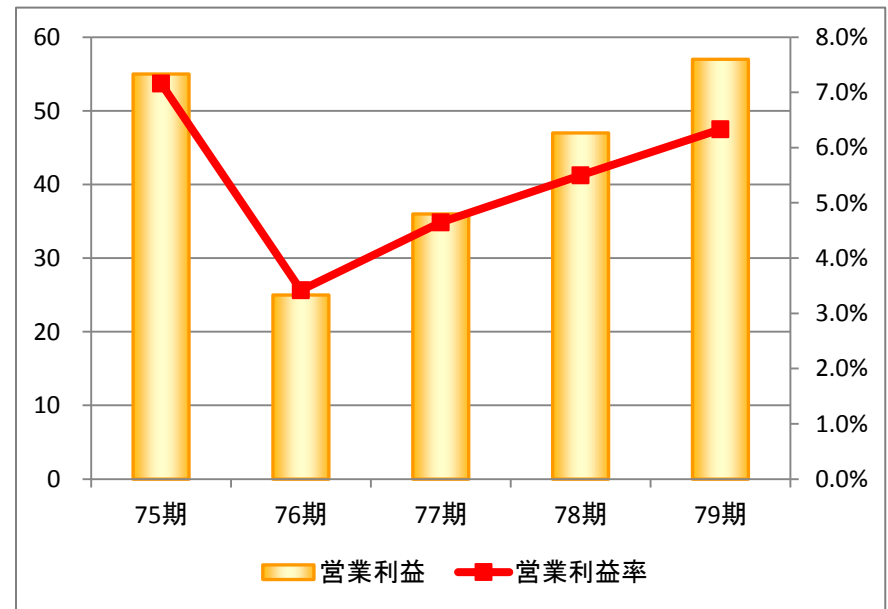


(単位:億円)

	75期 (2011/3)		76期 (2012/3)	
	実績	売上比	実績	売上比
売上高	779		753	
営業利益	55	7.2%	25	3.4%
経常利益	57	7.3%	28	3.8%
当期純利益	11	1.4%	14	1.9%



中期経営計画							
77期 (2013/3)				78期 (2014/3)			
実績	売上比	計画	売上比	計画	売上比	計画	売上比
775		855		900		+ 146	119.4%
36	4.6%	47	5.5%	57	6.3%	+ 31	222.0%
37	4.8%	48	5.6%	58	6.4%	+ 29	204.5%
24	3.1%	28	3.3%	35	3.9%	+ 20	247.3%



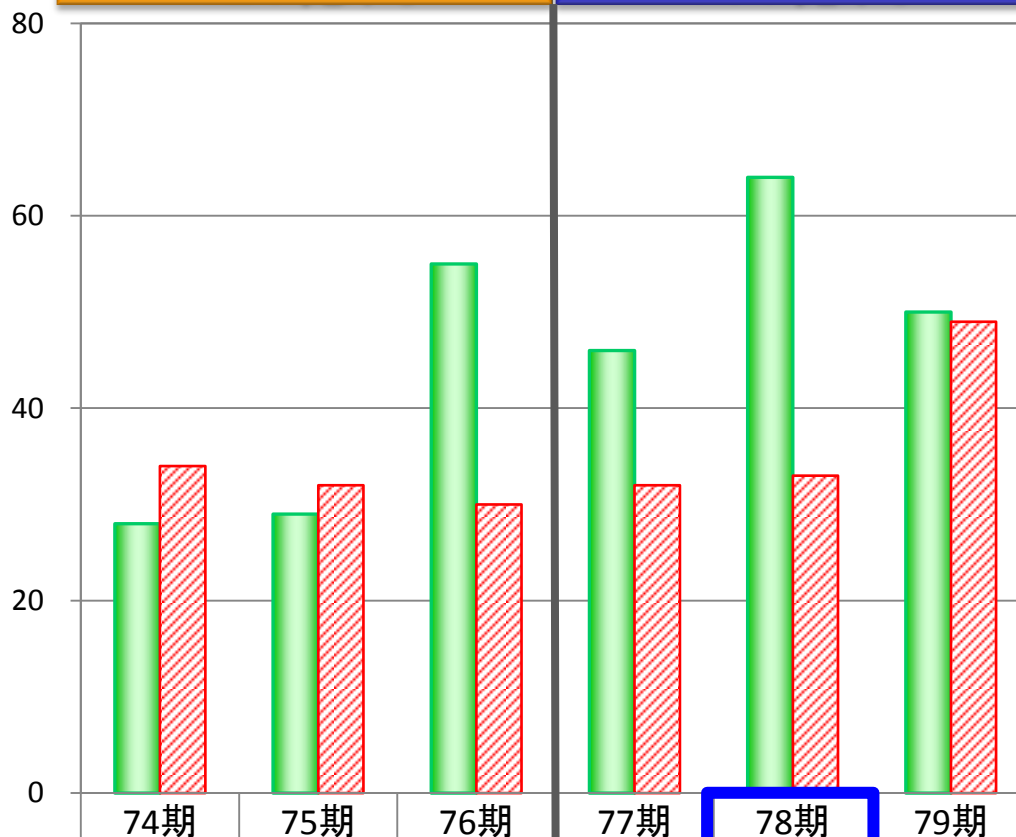
設備投資計画 および 減価償却費



(単位:億円)

74～76期 設備投資 120億円

77～79期 設備投資 160億円



主な設備投資 (会社別)

理研ビタミン 100億

リケビタ・マレーシア 35億

理研食品 15億

青島福生食品 7億

■ 設備投資	28	29	55	46	64	50
▨ 減価償却費	34	32	30	32	33	49

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。

それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。

実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。



お問い合わせ先
経営企画部
毛塚・相原

TEL: 03-5275-5835